

規則性と関数

範囲：中3 関数図形

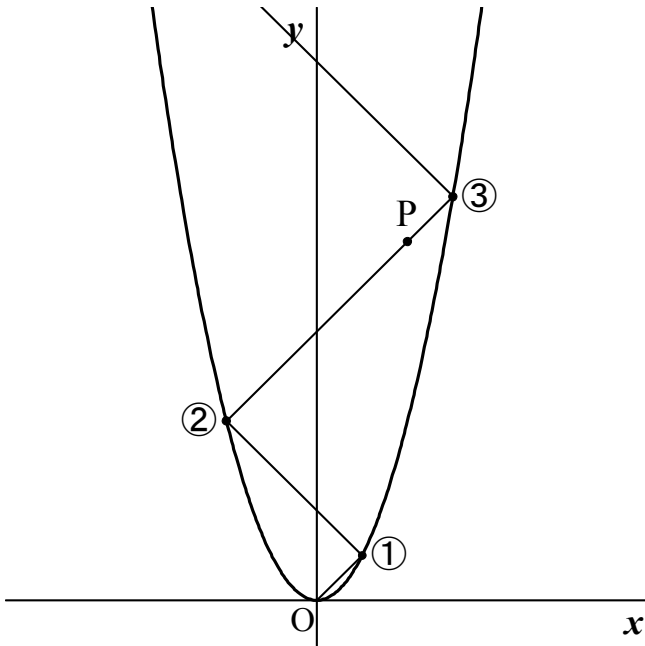
難易度：★★★★★

得点

/10

出典：2011 年度 筑波大学附属駒場中・高等学校 (高校入試)

図のように、関数 $y=x^2$ のグラフと、原点 O から始まる折れ線があります。図の①、②、③、……は、折れ線と $y=x^2$ のグラフの交点で、折れ線をつくる各線分の傾きは、順に $1, -1, 1, -1, 1, \dots$ です。点 P は O を出発し、折れ線上を毎秒 1 cm の速さで進みます。次の問いに答えなさい。ただし、座標の 1 目盛りを 1 cm とします。

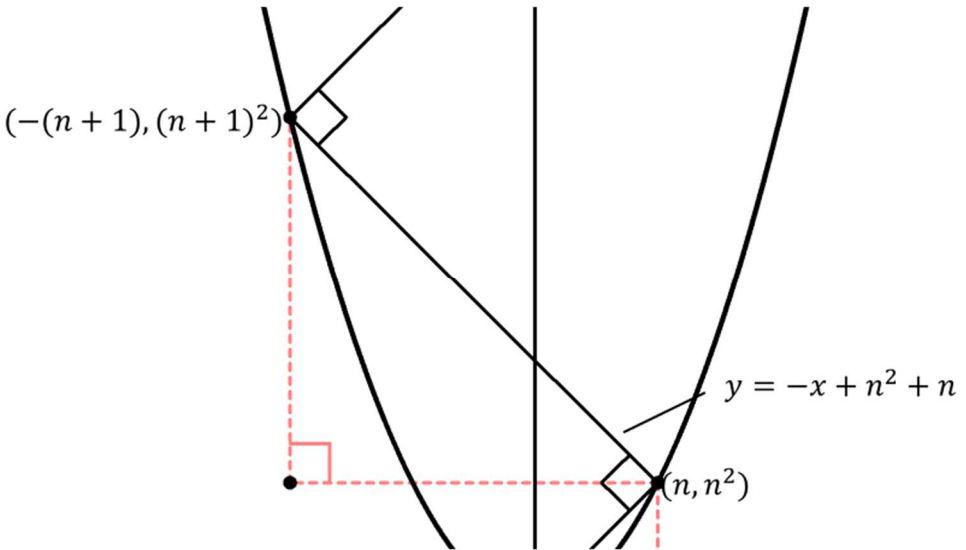


- (1) P が点③に到着するのは、出発してから何秒後ですか。
- (2) $(O①②)$, $(①②③)$, $(②③④)$, ……のように、折れ線上の連続した 3 点を頂点とする三角形を考えると、その面積が 195 cm^2 になることがあります。そのときの頂点を、上のよう書きなさい。
- (3) 出発してから 100 秒後の P の座標を求めなさい。

【解答解説】

n 番目の座標を (n, n^2) と表す。 n 番目と $n+1$ 番目を結ぶ直線の式は、下の図のように傾き -1 となり、 $y = -(x - n) + n^2$ となるから、 $y = x^2$ との交点は、 $x^2 = -x + n^2 + n$ $x^2 + x - n(n+1) = 0$ $(x - n)(x + n + 1) = 0$ となり、 $x = n, -(n+1)$ となる。

よって、 $n+1$ 番目の座標は $(-(n+1), (n+1)^2)$

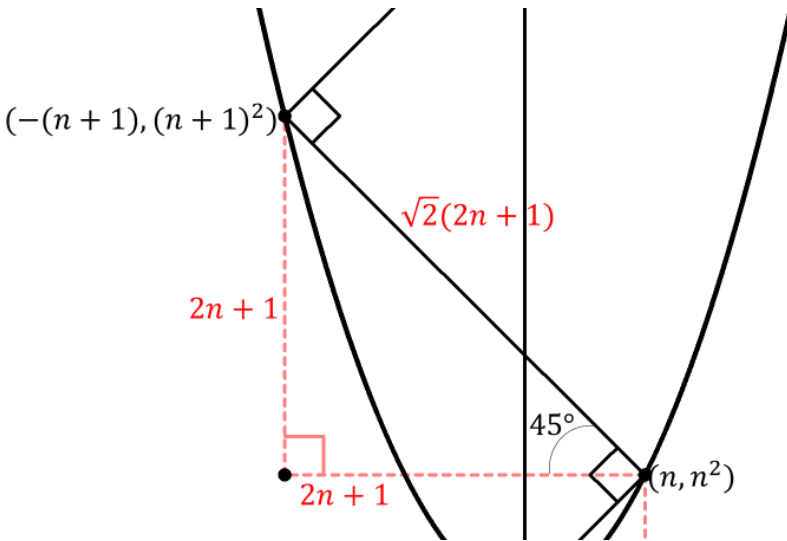


同様に計算すると、 n 番目と $n+1$ 番目を結ぶ直線の式の傾きが 1 の場合は、 n 番目の座標は $(-n, n^2)$ 、 $n+1$ 番目の座標は $((n+1), (n+1)^2)$ となる。上記のように真面目にやらなくても、色々実験すれば「 n 番目の y 座標は n^2 だ」と気づいて解き進めるのもアリ。

※実験とは ① $(0, 0)$ ② $(1, 1)$ ③ $(-2, 4)$ ④ $(3, 9)$ ⑤ $(-4, 16)$ ……と具体的に座標を何とか出していくこと。頑張って。

(1) (4点)

③ (3, 9) となる。図のように、 n 番目と $n+1$ 番目の点を結ぶ線分の長さは、 $\sqrt{2}(2n+1)$ となるから、③までに合計 $\sqrt{2}+3\sqrt{2}+5\sqrt{2}=9\sqrt{2}$ 進む。



よって、出発してから、 $9\sqrt{2}$ 秒後

※ x 軸に平行な直線と、傾き 1 または -1 の直線のなす角の大きさは 45° である。

※傾き 1 と -1 の直線のなす角の大きさは、(傾き同士をかけると -1 になるので) 90° である。詳しくはぐぐったり参考書。

(2) (3点)

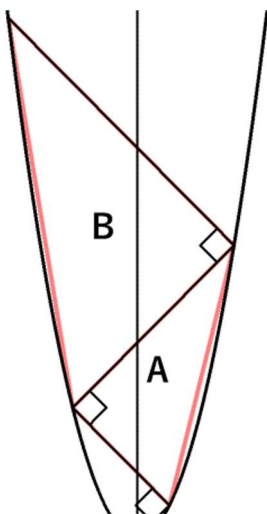
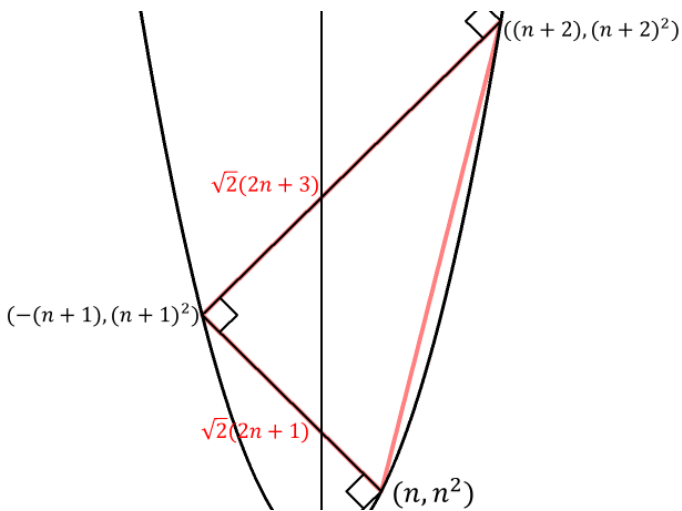
$(\boxed{n} \boxed{n+1} \boxed{n+2})$ の面積は、

$$\frac{1}{2} \times \sqrt{2}(2n+1) \times \sqrt{2}(2n+3) = (2n+1)(2n+3) \text{ と表される。}$$

これが 195 となるから、 $4n^2 + 8n + 3 = 195 \quad 4n^2 + 8n - 192 = 0$

$$n^2 + 2n - 48 = 0 \quad (n+8)(n-6) = 0 \quad n = -8, 6$$

$n > 0$ より、**(6)(7)(8)**



※ $(\boxed{n} \boxed{n+1} \boxed{n+2})$ の面積を、A の三角形で考えようが、B の三角形で考えようが、結局長さ、面積は同じである。

(3) (3点)

(解法 1)

1秒進むと、 y 座標は $\frac{\sqrt{2}}{2}$ 増えるから、100秒後の y 座標は $50\sqrt{2}$ である。

$50\sqrt{2} \approx 70.7$ なので、 x 座標は、 -8 に、 $50\sqrt{2} - 64$ を足したものとなる。

$$-8 + 50\sqrt{2} - 64 = 50\sqrt{2} - 72 \quad (50\sqrt{2} - 72, 50\sqrt{2})$$

(解法 2)

100 cm 進むには、

$$\sqrt{2} + \dots + 15\sqrt{2} = 64\sqrt{2} \approx 91$$

$$\sqrt{2} + \dots + 15\sqrt{2} + 17\sqrt{2}$$

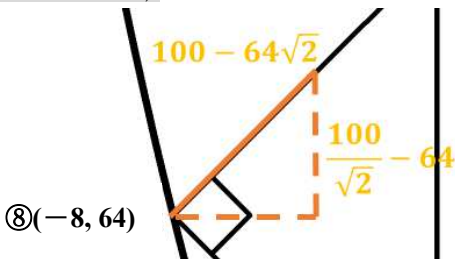
$$= 81\sqrt{2} \approx 114$$

であるから、⑧と⑨の間にある。

⑧から $100 - 64\sqrt{2}$ cm 進めばよいので、

$$\frac{100}{\sqrt{2}} - 64 = 50\sqrt{2} - 64 \quad \text{これを⑧} (-8, 64) \text{の各座標に足せばよいから、}$$

$$100 \text{ 秒後の座標は、} (50\sqrt{2} - 72, 50\sqrt{2})$$



【コメント】

やたら長々と書いていますが、

- n 番目の y 座標は n^2
- $45^\circ, 90^\circ$ がたくさんでき、直角二等辺三角形のオンパレードと気づければ、そこまで難しくありません。

とはいえ、北海道の学習塾の「裁量問題対策」とか謳っている問題集に載っていたときはドン引きしました。北海道ではオーバーワークです。

【作成】